

**菅原 久仁義** (片足鳥居の映像)

小6で釧路の都山流木賊明山師に入門、高校2年に札幌の高橋涉童師に琴古流を学ぶ。上京して横山勝也師に師事、取り憑かれ今に至る。この間50年。嗚呼！

**杉原 俊介** (郷音)

大学から尺八を始め、琴古流を菅原久仁義氏に師事。竹々の会参加は今回初。北大邦楽研究会会員二年目。

**嶋志田 史佳** (郷音)

高校から尺八を始め、都山流を金子繡山氏に、現代邦楽を菅原久仁義氏に師事。北海道大学邦楽研究会2年目。

**中村 建** (真虚霊)

10歳より尺八を始め、中学校3年の時に荒木派に出会い、心酔した。現在外曲は白譜で吹いている。

**見澤 太基** (甲乙)

札幌市出身。尺八を菅原久仁義に師事。  
http://taikimisawa.blogspot.com

**千川 迪山** (三谷)

新都山流尺八、鈴木吟山門。より深く尺八を楽しめるよう菅原久仁義氏に指導を受けています。

**岡 宏作** (想い出)

学生時代から尺八を始め、北海道に転勤してから菅原邦楽研究室に所属。巡礼、お遍路が趣味。

**見延 鈴鳴** (奥州薩慈)

琴古流青木鈴慕直門、安達鈴王及び菅原久仁義各氏に師事。第32回北海道三曲コンクール尺八の部奨励賞・大師範。

**佐藤 文彦** (尺八五重奏「涼」)

今回初参加。都山流を金子繡山師に師事。第24回北海道三曲コンクール総合一位。「11色のクレパス」メンバー。

**藤田 龍之介** (尺八五重奏「涼」)

菅原久仁義氏に師事。1992年生まれ東京都練馬区出身。父の影響で、8歳より長唄三味線を始める。2011年大学入学と同時に北大邦楽研究会へ入会、尺八を始める。

**設楽 和恵** (尺八五重奏「涼」)

菅原邦楽研究室所属。尺八7年目。未熟なりに音を楽しんでいます。

**成澤 正幸** (尺八五重奏「涼」)

1981年より菅原久仁義に師事。菅原邦楽研究室所属。邦楽アンサンブル「11色のクレパス」のメンバーとして活動。

**宮野 悟** (尺八五重奏「涼」)

いつかは演奏してみたいという気持ちはありましたが、突然チャンスをいただきました。今回の演奏会を機にチャレンジしてみたいと思います。

**本庄 智將** (瀧落)

都山流尺八楽を山下静山、琴古流を菅原久仁義各師に師事。転勤で移り住んだ横浜から参加です。

**宮本 進** (阿字観)

菅原邦楽研究室所属。山形の高橋龍童氏に師事。紆余曲折を経て十数年前より菅原師に習い今日に至る。

**山中 夕山** (尺八三重奏曲「絆」)

日本尺八連盟所属。古典本曲、現代邦楽を菅原久仁義氏に師事。

**加藤 游山** (尺八三重奏曲「絆」)

日本尺八連盟所属。山中夕山氏に師事。古典本曲と現代曲を菅原久仁義に師事。

**藤山 夕春** (尺八三重奏曲「絆」)

日本尺八連盟所属。山中夕山氏に師事。

**特別出演 向井 範山** (岩清水)

昭和46年都山流尺八を森翠山氏に師事  
平成3年北海道三曲コンクール尺八部門1位入賞

**木村 七郎** (3つの黒人霊歌)

花園怜童氏に入門し、後に菅原久仁義氏に師事。竹々の会4度目の挑戦。

**芳賀 浩** (心月)

北大邦楽研究会OB。伊藤鈴鳥氏、佐藤豊童氏に師事。卒業後、菅原久仁義氏に師事。

**山下 静山** (竹の四季より「春」)

1982年より尺八を始める。都山流を中島聖山氏に師事。古典本曲ほかを菅原久仁義氏に師事。新都山流大師範。

**門田 童山** (鹿の遠音)

1984年北海道三曲コンクール第1位(知事賞)  
五十嵐良山師に師事。日本尺八連盟大師範。

**中村 童拓** (鹿の遠音)

中学1年から門田童山師に師事。  
北大邦楽研究会60代目会長。日本尺八連盟準師範。

**両角 昌幸** (蘭曲壺) **特別参加** (長野竹竹の会)

22才のとき、北大邦楽研究会で尺八と出会う。同年から尺八を菅原久仁義に師事。長野県在住、現在45才。

**寺倉 直明** (霊慕)

長岡薫道、菅原久仁義各氏より琴古流尺八を学ぶ。  
第31回北海道三曲コンクール尺八の部2位。

**星 鈴雪** (巢鶴鈴慕)

北海道三曲協会及び北海道琴古会に所属しております。  
本曲を独奏する機会が少ないので参加致しました。

**奥田 徹** (Tango Etudes) **特別参加** (長野竹竹の会)

菅原先生に入門して早いもので30年。  
気持ちだけはBe ambitious。甲府で吹き続けています。

**金子 静守** (宮城野鈴慕)

1980年横浜にて尺八を始める。琴古流尺八宗家・青木鈴慕師主宰の鈴慕会に所属。主に古典を学ぶ。

**中村 俊一** (布袋軒山谷) **特別参加** (長野竹竹の会)

35年前、札幌で菅原御夫妻と出会い、サラリーマンを辞めて尾崎尺八工房に弟子入り。以来、尺八制作を続ける。



2016  
9/10  
<SAT>

13:30開場 14:00開演

ザ・ルーテルホール  
札幌市中央区大通西6丁目

主催 / 竹々の会実行委員会 後援 / 札幌市・札幌市教育委員会・北海道新聞社

## ご挨拶

本日はお忙しいなか、ご来場誠にありがとうございます。竹(尺八)を愛する有志が集まった「竹々の会」は、今年で5回目を迎えることとなりました。今日まで流派や組織を越えてご賛同・ご協力下さった皆様に厚く御礼申し上げます。

今回は第五回記念としてゲストの方々をお招きしております。まずは満90歳にして現役でご活躍されている向井範山先生に特別に演奏して頂きます。さらに、「尺八だけの演奏会」としては大先輩にあたる本家・長野「竹竹の会」から、中村俊一氏、両角昌幸氏、奥田徹氏にお越し頂きました。今年で23回目の「竹竹の会」開催という御三方の力を借り、我々北海道「竹々の会」が、道内尺八愛好の輪の起点となればと思っております。最後に、尺八好きの方々にも、初めて尺八の音色に触れる方々にも、当演奏会を新鮮な気持ちでお楽しみいただければ大変嬉しく思います。

第五回竹々の会実行委員会 幹事 設楽 和恵

### 1 片足鳥居の映像 (佐藤敏直作曲) 菅原 久仁義

長崎市の阪本町に原爆で片足を破壊されながらも立ち続ける鳥居がある。この曲は戦争により亡くなった人達への慰めの文脈が音楽の中に込められている。今回は1. 3. 4 楽章を演奏。

### 2 郷 音 (水川寿也作曲) 第一尺八 鴨志田 史佳 第二尺八 杉原 俊介

尺八二重奏曲。尺八の基本の5音「ロツレチハ」のみで構成されたシンプルな作品だが、優美な前半と軽快な後半との、静と動の対比的な展開がとりわけ印象的である。

### 3 琴古流本曲 真虚霊 (黒澤琴古 伝) 中村 建

琴古流本曲の「古伝三曲」の1つであるが、音楽というより精神的な要素の強い曲であり、最も年輪を必要とする曲である。荒木派友斎師の作譜を使用する。

### 4 甲 乙 (山本邦山作曲) 見澤 太基

1973年作曲。山本邦山作曲の尺八独奏曲の中でも演奏される機会の多い曲の一つである。緩-急-緩-急-緩と展開し、尺八の手法を生かした旋律と、快活な旋律の対比を成している。

### 5 三 谷 (中京所 伝) 千川 迪山

朝霧にかすむ中に朗々と響く鐘のように始まり、高音に至っては山谷を眺めるようにうつくしい。転調部から結びへと非常にドラマチックである尺八楽屈指の名曲である。

### 6 思い出 (広門伶風作曲) 岡 宏作

作者が若い頃遊んだ故郷の山や川を思い浮かべ、その郷愁を書き現したものだという。

### 7 奥州薩慈 (神保政之輔 伝) 見延 鈴鳴

虚無僧が托鉢行脚の時流して吹奏する曲で、「さし」と呼ばれ神保三谷とも言われ、調・本手・高音鉢返と古典本曲の典型的な形式を整え、尺八の本来の味を生かしている。

### 8 尺八五重奏 「涼」 (山本邦山作曲)

第一尺八 佐藤 文彦 第二尺八 藤田 龍之介 第三尺八 設楽 和恵 第四尺八 成澤 正幸 第五尺八 宮野 悟

E管～A管までを用いた二楽章構成で、尺八独特の奏法や、尺八が不得手とする半音階パッセージ等、多彩な手法が盛り込まれている。曲想は、中国の五胡十六国時代に、民族毎に五国に分立していた「涼」から得ている。

### 9 瀧 落 (古典本曲) 本庄 智將

伊豆の虚無僧寺、龍源寺の住職が滝の音を聞いて作曲したとの言い伝えがあり、瀧の水がとうとうと落ち、流れていくさまを思わせるものです。一切をためらわず、川の流れの如く、演奏したいと思います。

### 10 阿字観 (宮川如山 伝) 宮本 進

「阿字観」とは密教の観法で「阿」の字を観ずることにより一切諸法の根源に到達しようとする行法。最後の虚無僧と言われる谷狂竹が長管で好んで吹いた曲である。

### 11 尺八三重奏曲「絆」 (高橋雅光作曲)

第一尺八 加藤 游山 第二尺八 藤山 夕春 第三尺八 山中 夕山

戦争・災害・別離等、人が生きていくために背負うあまたの悲しみがこの曲のテーマ。「悲しみ」「祈り」「躍動」の部分から出来ており、心模様を表している。

### 12 岩清水 (古典本曲) <特別演奏> 向山 範山

1904年、初代中尾都山28才の頃、京都の石清水八幡宮に参詣したおりに得た楽想によって作曲された。

< 休 憩 >

### 13 3つの黒人霊歌 (黒人霊歌 グレゴリオ聖歌) 木村 七郎

出せる音域がまだ狭い自分の稽古用に編曲した。日本音楽と黒人霊歌には意外な共通性がある。曲中には尺八本曲独特の奏法も使い、曲間にはグレゴリオ聖歌の一節を引用した。

### 14 心 月 (古典本曲) 芳賀 浩

「心月弧月 光呑万象」という澄みきった境地を表す曲といわれる。全体に静かな調子であるがそれを突き破る後半冒頭の旋律が静けさを強調している。

### 15 竹の四季より「春」 (山本邦山作曲) 山下 静山

尺八は、ある時は激しく、又あるときは静かに、そして鳥や虫の声など身近に表現できる不思議な楽器である。これらの自然の情景を曲に取り入れた作品である。(作曲家)

### 16 鹿の遠音 (琴古流本曲) 門田 童山 中村 童拓

秋の奥山深く、遠くから聞える鹿の鳴声を描写した琴古流の代表曲。虚無僧の祖と言われる南朝残党の楠正勝が、山岳戦で通信の暗号として用いた鹿笛がこの曲の濫觴とされる。

### 17 蘭 曲 - 壺 - (肥後一郎作曲) 特別参加 (長野竹竹の会) 両角 昌幸

タイトルの「蘭曲」とは能楽用語です。能楽に尺八が現れることはありませんが、どこかに能楽のイメージが垣間見えるでしょうか。

### 18 霊 慕 (古典本曲) 寺倉 直明

奥州系の古典本曲である鈴慕には、伝承する寺院により、いくつかの種類がある。この中の布袋軒鈴慕をもとに、海童道が技巧的な手を入れ、短くしたものを霊慕とした。

### 19 琴古流本曲 巢鶴鈴慕 (黒澤琴古 伝) 星 鈴雪

雛鶴の誕生から子育て・成長・巣立ち、そして親鶴の死に至る一連を物語るものと言われてます。

### 20 Tango Etudes (Astor Piazzolla作曲) 特別参加 (長野竹竹の会) 奥田 徹

ピアソラがフルートのために書いた練習曲6曲の中から。もちろん、尺八でやるのは大変難しいのですが、どの曲も哀愁に満ちた大変素晴らしい曲です。

### 21 宮城野鈴慕 (古典本曲) 金子 静守

鈴慕とは、故人や親しい人等を慕う意味。各地に鈴慕と呼ばれる曲がある。今回の曲はその一つで、仙台地域で吹かれていたものが大正時代に京都に伝わり宮城野鈴慕と呼ばれた。

### 22 布袋軒山谷 (古典本曲) 特別参加 (長野竹竹の会) 中村 俊一

東北系古典本曲の基本曲です。地味ですが味わいがあります。神如道譜で吹きます。